

金村の決意

りゅうな

私は3児の父として、日本の将来に危機感を感じ、政治家となりました。裏金政治、低迷する経済、時代遅れの社会の仕組み、少子高齢化。停滞する日本に残された時間はもうありません。子どもたちが生きる時代を、もっと希望の持てる日本にするために、私は将来に責任を持つ政治家として、いま、政治を変えます。皆さま、どうか力を貸してください。

金村りゅうな

◆ 金村りゅうなプロフィール
1979年生まれ。45歳。2002年から城島光力衆議院議員（元財務大臣）の秘書を務める。その後、川崎区・幸区・大田区に児童福祉施設を8か所創業。現在、3児の父として、共働きで子育て真っ最中。2021年10月、衆院選で初当選。



詳しくはこちらをチェック

ホームページ

YouTube

世代交代

予算が足りなければ増税する
古い政治

- 😞 働く世代の負担増
 - 😞 政治とカネの問題
 - 😞 長老支配の政治
 - 😞 非合理的で令和の時代に合わない制度
- これが今の政治の現状です

国民負担 2003年 34.1% → 2022年 47.5%
13.4% (1人当たり41万円) も負担増

※所得における税と社会保険料の割合

国民所得 2003年 381.6兆円 → 2022年 409.9兆円
所得はほとんど増えてない

V5

子育て現役世代が政治を変える。

減税で国民負担を軽減する 新しい政治

バラマキの為の増税から、
可処分所得を増やす減税へ！



社会保険料と税金を下げ、手取り収入を増やす
「現役世代に過度な負担を強いる制度」は見直し、上がり続ける社会保険料の負担を軽減。基礎年金と医療保険の構造改革を推進させ、家計の可処分所得の向上へ。物価高への対応策・経済対策として消費税減税を断行。



若者、子育て世代の負担軽減
幼児教育・高校の所得制限のない完全無償化へ。出産費用の無償化、年少扶養控除の復活を実行し、産前産後ケア政策を拡充。子どもの数が多いほど税負担を軽減する「世帯単位課税」を導入し、子育てにかかる経済負担を軽減。



政治改革で議員特権廃止・議員定年制導入
企業団体献金の禁止、政策活動費の廃止、旧文通費など議員特権の廃止を徹底。長老利権政治を打破するため、議員定年制と世襲制限を断行。



時代に合わない規制・制度をアップデート
ライドシェアや選択的夫婦別姓など、時代に合わない規制に縛られた制度を変える。既得権に囚われない大胆で民間活力を最大化させる成長戦略・規制緩和を推進し、イノベーションを生み出す環境を整備。

日本維新の会
金村 45歳
りゅうな